

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年3月10日)

- 1 「とっとりふるさと旅行券（仮称）」の販売開始について
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 平成27年度関西広域連合のジオパーク推進体制について
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 県内空港の現状について
【観光戦略課】・・・3ページ
- 4 全日本マスターズ陸上競技選手権大会の第39回大会の
開催決定について
【スポーツ課】・・・4ページ
- 5 「鳥取マラソン2015」の開催について
【スポーツ課】・・・5ページ
- 6 チーム鳥取！アスリート候補生の決定について
【スポーツ課】・・・7ページ
- 7 関西広域連合事務への「広域スポーツの振興」の追加について
【スポーツ課】・・・8ページ
- 8 「コミックマーケットスペシャル6 - OTAKU SUMMIT 2015 -」
への出展について
【まんが王国官房】・・・12ページ

文化観光スポーツ局

「とっとりふるさと旅行券(仮称)」の販売開始について

平成27年3月10日
観 光 戦 略 課

この度、国において、物価動向や消費に関する地域の実情に配慮しつつ、地域の消費の喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って対応を絞った対応をすることなどを目的として、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」が創設されました。

本県でも緊急経済対策として、宿泊観光客の増加・周辺観光施設等への周遊を促進するため、以下のとおり「とっとりふるさと旅行券(仮称)」の販売に取り組みます。

1 「とっとりふるさと旅行券(仮称)」の概要

名 称	とっとりふるさと旅行券(仮称)
実施主体	鳥取県(具体的な運営業務は(株)JTBC中国四国鳥取支店へ委託)
額面及び販売額	額面10,000円を5,000円で販売(プレミアム率:100%)
発行枚数	14,000枚
発行総額	1億4,000万円
販売場所	全国の手続きコンビニエンスストア(約49,000店舗) (セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK・サンクス、ミニストップ)
購入限度	設定しない(コンビニ発券のシステム上、困難)
利用可能となる施設	利用可能施設として登録した県内の宿泊施設(ホテル、旅館等) なお、宿泊施設フロントでの清算に限って使用可能とし、現金との引き換えや釣銭の支払は不可とする。
利用制限	1泊につき、1人あたり2枚(額面20,000円)までとする
販売開始	平成27年4月1日(水)予定
利用期間	平成27年4月13日(月)チェックイン分～平成27年11月1日(日)チェックアウト分まで

2 販売及び使用開始に向けたスケジュール

3月5日(木)及び6日(金):旅行券取扱施設募集説明会(東・中・西部の3箇所)
※3会場で約120人が説明会に参加した。

3月20日(金):旅行券取扱施設の応募期限

4月1日(水):旅行券販売開始(売り切れ次第、販売終了)

4月13日(月):旅行券利用開始

3 情報発信について

(県外向け情報発信)

(1)首都圏・関西圏のメディアに向けたプレスリリース(3月12日頃を予定)

- ・テレビ局、新聞社、雑誌社、WEB媒体等、約200社に向けた情報発信
- ・正式名称はこの際に発表する。

(2)首都圏をはじめとする都市圏の消費者に向けた発信(3月末を予定)

- ・首都圏、関西圏、中京圏、山陽方面での新聞広告による告知

(3)その他

- ・(公社)鳥取県観光連盟のWEBサイトに特設ページを設置する。(3月下旬)
- ・コンビニエンスストアレジ画面での告知や県外で実施するイベント等での発信も検討中である。

(県内向け情報発信)

- 地元紙を活用したPR(3月中下旬)

平成27年度関西広域連合のジオパーク推進体制について

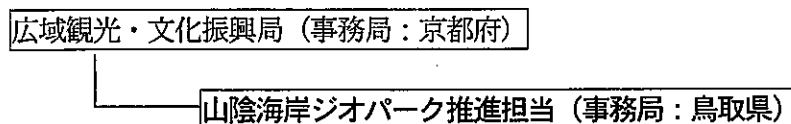
平成27年3月10日
緑豊かな自然課
観光戦略課

3月1日(日)に大阪市内(大阪府立国際会議場)で開催された「第54回関西広域連合委員会」で、関西広域連合の組織体制の見直しが協議され、ジオパーク推進に係る新体制が了承された。

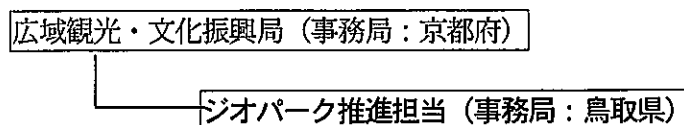
1 ジオパーク推進体制の見直し

山陰海岸ジオパークのみならず、昨年、日本ジオパークに認定された南紀熊野地域を含めたジオパーク全体を鳥取県が担当し、連携したインバウンド活動の推進を図る。

【これまで】



【平成27年度改正】



【参考1】平成27年度関西広域連合のジオパーク関係予算(予算概要抜粋)

ジオパーク活動の推進(1,000千円) (261,000)	
関西にある優れた地質景観スポットを「地質の道」として提案・PRすることで関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進する。	
○インバウンド活動	広域観光連携のモデル的取組み
・山陰海岸ジオパーク等のトップセールス、観光セミナーの開催	
・外国人観光客向けガイドブック等で「地質の道」をPR	

※3月1日の関西広域連合議会3月定例会において、平成27年度関西広域連合一般会計予算が原案どおり可決された。

【参考2】第54回関西広域連合委員会

日時 平成27年3月1日(日) 11:55~12:30

出席者 井戸連合長(兵庫県)、仁坂副連合長(和歌山県)、山田委員(京都府)、飯泉委員(徳島県)、西嶋副委員(滋賀県)、植田副委員(大阪府)、林副委員(鳥取県)、小笠原副委員(京都市)、中條副委員(堺市)、鳥居副委員(神戸市)、村上局長(大阪市)

県内空港の現状について

平成27年3月10日
交通政策課
観光戦略課

1. 鳥取砂丘コナン空港

<愛称使用開始>

3月1日(日)午後1時から鳥取空港国際会館においてオープニングセレモニーを開催し、「鳥取砂丘コナン空港」の愛称使用を開始した。

- (1) 参加者 約500名(上海チャーター利用者約200名を含む。)
- (2) 報道関係者 約50社
- (3) 直後の反応
 - ・鳥取-羽田便の3月の予約状況が、好調であった昨年に対しても約10%の増となっている。(3/3時点)
 - ・同日を機に、鳥取空港サポートクラブへの登録が増加している。
 - ・飛行機の発着時刻以外の時間帯でも、若い男女が到着ロビー前のウエルカムスペースで写真を撮ったり、親子が国際会館フリースペースのトリックアートで写真を撮りに来たりしている。

<鳥取-東京便>

- 1便増便された26年4月から27年2月までの搭乗者数は311,365名(速報値)、搭乗率は57.8%で、政策コンテストの1年目の目標数は達成できる見込みである。
- 5便化を定着させるには、今後更に利用者増に努め、増便に見合うだけの搭乗率の確保が必要であり、空港の愛称化も最大限に活用しながら引き続き利用促進に取り組んでいく。

2. 米子鬼太郎空港

<米子-東京便>

- 26年4月から27年2月までの搭乗者数は450,290名(速報値)、搭乗率は66.3%で、出雲大社の遷宮効果で好調であった昨年度には及ばないものの搭乗者数は堅調に推移している。
- 既に夏ダイヤでの6便継続が確定しており、引き続き、利用促進に取り組んで、6便化を定着させる。

<スカイマーク便>

- 2月1日から米子-神戸、米子-那覇の各1往復の運航となっており、8月末までは同便が継続運行されるが、9月1日以降はいずれも運休となり、スカイマーク便は一旦全便が運休となる。
- 同社の9月1日以降のダイヤに関する公表資料の中で「社の再生並びに経営改善が進み、盤石な経営基盤が整った後には、改めて米子路線への就航を検討したい」旨のコメントが付されたところであり、県としても継続して同社と定期的に情報共有していくとともに、航空便の利用促進に努めていく。

<米子-ソウル便>

- 昨年11月末から本年1月初旬の韓国内のメディアを活用した本県の認知度向上策や旅行商品販売を通じて利用者が急増している。
- 2月の利用実績は、就航後初めて韓国人搭乗者数が3,000名を超え、搭乗率は就航以来最高の88.7%となった。今後も韓国内での認知度向上による誘客や地元の利用促進に努める。

全日本マスターズ陸上競技選手権大会の第39回大会の開催決定について

平成27年3月10日
ス ポ ー ツ 課

本県生涯スポーツ振興のため、鳥取マスターズ陸上競技連盟等の関係団体と連携して開催誘致の取組を進めてきた、「全日本マスターズ陸上競技選手権大会」について、第39回（平成30年）大会の本県での開催が決定しました。

本県生涯スポーツの更なる振興を目指し、鳥取県ならではの大会で、全国の陸上競技愛好者をおもてなしし、鳥取マスターズ陸上競技連盟等と協力して、大会の成功に向けての各種取組を実施します。

本県開催イメージ（案）

生涯スポーツ先進県鳥取をPRする、鳥取ならではのおもてなしにあふれた大会を実現する。

- ・日 時 平成30年9月下旬（3日間）
- ・場 所 コカ・コーラウエストスポーツパーク 陸上競技場（鳥取市）
- ・参加者 約1,500人
- ・その他 鳥取の良さをPRする各種併催イベントを実施

（参考）全日本マスターズ陸上競技選手権大会の概要

幅広い年代の陸上競技愛好者が出場する陸上競技の祭典で、全国の都道府県を巡回して毎年開催されている。

- ・主 催 日本マスターズ陸上競技連合
- ・内 容 年代別でトラック・フィールドの男子29種目、女子25種目を実施
- ・期 間 3日間
- ・参加者 各都道府県から参加
- ・その他 本県では、1992年（平成4年）に鳥取市で開催

「鳥取マラソン2015」の開催について

平成27年3月10日
ス ポ ー ツ 課

「鳥取マラソン2015」が以下のとおり開催され、国内外から約3,400人のランナーが鳥取を訪れ、健脚を競います。今回は、新たに「前夜祭」を開催し、鳥取の伝統芸能や郷土料理でランナーをもてなします。このほかにも、鳥取ならではの各種「おもてなし」を実施し、大会を盛り上げます。

- 1 日 時 3月15日(日) 午前9時スタート
ア 開会式(午前8時45分～ 鳥取砂丘オアシス広場付近)
イ 表彰式(午後1時～、コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場内)
- 2 コース 鳥取砂丘～コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場(日本陸連公認コース)
- 3 参加エントリー数 3,388人

	2015大会	【参考】2014
国内	3,361人 ※うち県外は1,919人(57%)	3,015人
海外	27人 ・県友好交流地域の参加(江原道3名、吉林省2名、ロシア4名) ・ツアーを利用して香港から、ランナー18名が参加	3人 ・台湾からの参加

※ゲスト 西谷綾子さん ※倉吉市出身で女性芸能人最速の「美ジョガー」(2014大会も参加)

4 「おもてなし」について

(1) 前夜祭

- ・日 時 3月14日(土) 午後6時～
- ・場 所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間
- ・内 容 郷土料理の提供、麒麟獅子舞・しゃんしゃん傘踊りの披露、プレゼント抽選会等
- ・その他 13、14の両日夜、JR鳥取駅前風紋広場で鳥取マラソンをテーマとした3Dプロジェクションマッピング(立体映像を投影)を実施する

(2) その他

- ・JR鳥取駅と鳥取砂丘コナン空港に「ようこそ鳥取」歓迎ブースを設置する
- ・フィニッシュ会場に屋台村(飲食ブース、観光物産PRブース等)を設営する
- ・コース沿道での「ゆるキャラ」による応援、麒麟獅子舞の披露等
- ・県内特産品等が当たる「プレゼント抽選」を新設
- ・おかやまマラソン、姫路城マラソンとの連携(ブース出展、記念品の提供等による相互交流)
- ・東京マラソンとの提携(県内在住の鳥取マラソン上位入賞者を翌年の東京マラソンに推薦)

5 主 催 鳥取県、鳥取市、鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社

6 主 管 鳥取マラソン実行委員会

鳥取マラソン・コース図



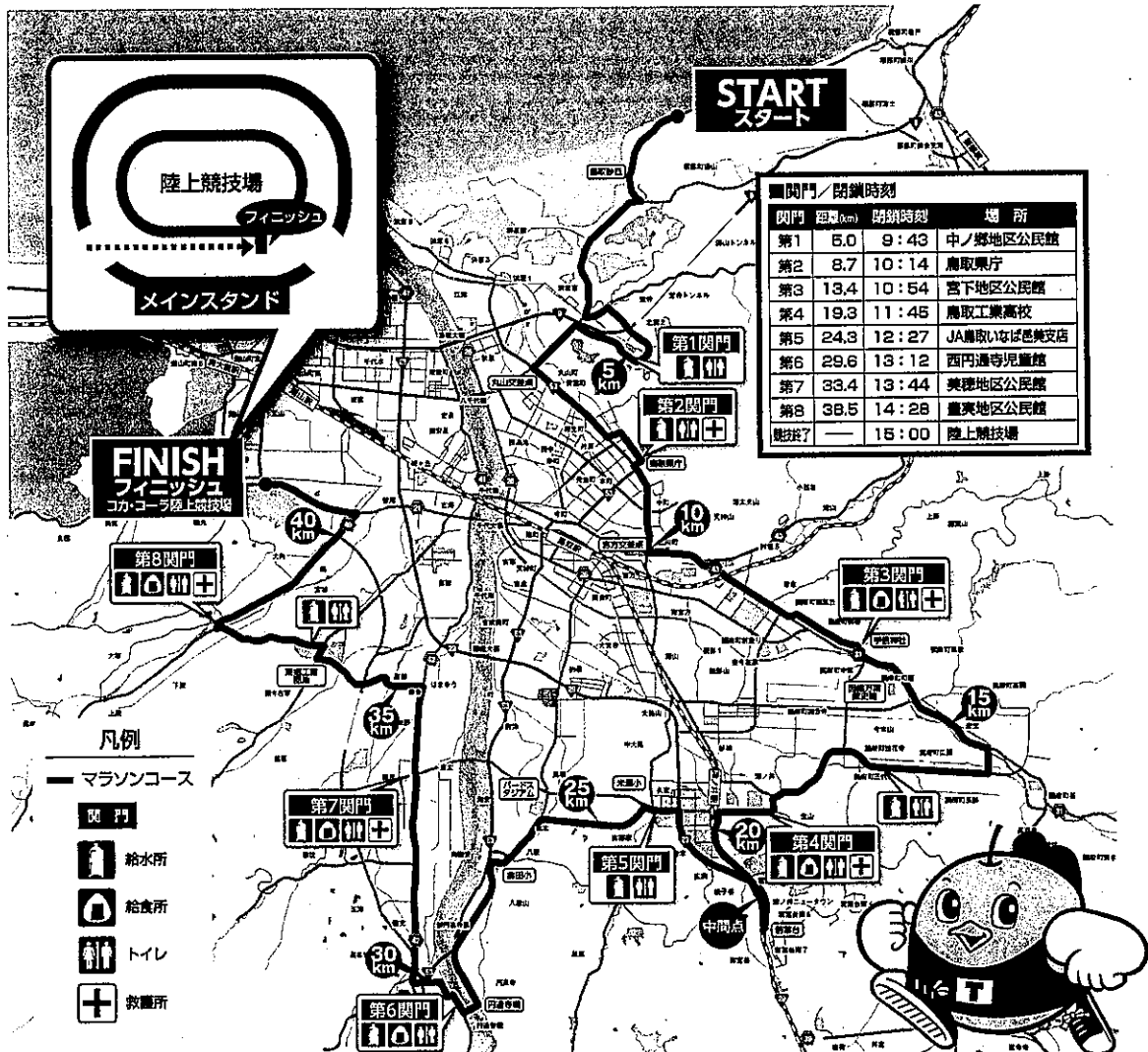
山陰海岸ジオパークへようこそ！

鳥取マラソン2015

駆け抜けろ！砂丘から田舎万葉の里へ！

2015年**3月15日** 午前9時 鳥取砂丘 スタート
午後3時 競技終了

マラソンコースおよびエイドステーション、関門のご案内



チーム鳥取！アスリート候補生の決定について

平成27年3月10日
スポーツ課

本年度から実施している2020年東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクトの「チーム鳥取！発掘・育成事業」の最終合格者を決定しました。

1 最終合格者決定までの流れ

7月18日～9月15日	募集
10月10日	1次合格発表
11月15日・12月27日	2次選考会
2月9日	2次合格発表
3月21日	認定式

2 応募・選考結果

応募総数 165名
1次合格 62名
最終合格 34名 (男子20名 女子14名)

(最終合格者内訳)

地区	小学生	中学生	合計
東部	12	7	19
中部	2	0	2
西部	10	3	13
合計	24	10	34

3 2次選考検査の内容

- (1) 体力検査 (検討委員会で作成した体力検査：瞬発力、敏捷性、持久力、平衡感覚、巧緻性)
- (2) 心理検査 (心理的競技能力診断検査)

4 認定式 (予定)

日時：3月21日(土) 10時00分から10時40分まで
会場：コカ・コーラウエストスポーツパーク県民体育館 第1研修室
出席者：合格者34名とその保護者
2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員
ロンドン五輪出場者 佐藤雅子選手、県内優秀選手(数名)ほか

5 今後の活動

- (1) 共通プログラム(体力トレーニング・メンタルトレーニング・スポーツ栄養指導)を月1～2回程度の練習会で実施する
- (2) アスリート候補生の興味関心に応じて、8競技の競技体験を実施する
- (3) 長期休業(夏・冬)を活用して、トレーニングキャンプを実施する
- (4) 積極的に競技団体での教室やクラブでの活動を希望するアスリート候補生への支援

関西広域連合事務への「広域スポーツの振興」の追加について

平成27年3月10日
ス ポ ー ツ 課

3月1日(日)に開催された「第54回関西広域連合委員会」で、広域連合が処理する事務として「広域スポーツの振興」を追加することを検討中であることが報告されました。

今後、規約改正案や広域計画の改正案について連合委員会で検討される予定です。

その後、各府県市議会での規約改正案の議決や、並行して連合議会での広域計画改正案の議決を経て、早ければ年度途中からでも事務を実施する方向で検討を進めています。

「広域スポーツの振興」に係る事務(事務局案)

- ・「広域スポーツ振興ビジョン(仮称)」の策定
- ・関西における広域スポーツ大会等の招致及び開催の支援

※当面は、関西ワールドマスタースゲームズの成功に向けたバックアップが中心

【参考1】第54回関西広域連合委員会の概要

1 日時

平成27年3月1日(日) 午前11時55分～午後0時30分

2 出席者

井戸連合長(兵庫県)、仁坂副連合長(和歌山県)、山田委員(京都府)、飯泉委員(徳島県)、西嶋副委員(滋賀県)、植田副委員(大阪府)、林副委員(鳥取県)、小笠原副委員(京都市)、中條副委員(堺市)、鳥居副委員(神戸市)、村上局長(大阪市)

3 協議事項

- ・経済の好循環実現のための賃上げに向けた価格転嫁対策の強化を求める緊急提言
- ・平成27年度関西広域連合の体制について
- ・近畿圏広域地方計画協議会への加入について

【参考2】関西広域連合の広域事務(7分野)

- ・広域防災
- ・広域観光・文化振興
- ・広域産業振興
- ・広域医療
- ・広域環境保全
- ・資格試験・免許等
- ・広域職員研修

◎鳥取県は、「広域観光・文化振興」「広域産業振興」「広域医療」の3分野に参加している。

広域スポーツの振興について

本部事務局

1 趣旨

関西における生涯スポーツの振興と元気で活力ある高齢化社会の実現、スポーツツーリズムを通じた地域の活性化を進めるため、広域連合が処理する事務に広域スポーツの振興を加え、広域計画及び規約を改正する。

2 広域計画及び規約の改正

施策推進のため規約及び広域計画の改正を行う。(本部事務局所管)

(1) 広域計画の改正

(改正案)

2 広域観光・文化・スポーツ振興

(スポーツ振興)

関西ワールドマスターズゲームズ 2021 の開催を契機とする生涯スポーツの気運の高まりを一過性のものとせず、関西における生涯スポーツの振興と元気で活力のある高齢化社会の実現、スポーツツーリズムを通じた地域の活性化を強力に進める必要がある。このため、広域スポーツの振興について、以下の重点方針に基づき取り組む。

<重点方針>

- (1) ライフステージに応じたスポーツ活動を振興するための「広域スポーツ振興ビジョン(仮称)」の策定
- (2) 関西ワールドマスターズゲームズ 2021 など、関西における広域スポーツ大会等の招致及び開催支援
- (3) 東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ 2019 のキャンプ地や会場の誘致支援

(2) 広域連合規約の改正

広域連合規約第4条に記載する「観光及び文化の振興」に追記し、「スポーツ」と「観光及び文化」の振興を一体的な政策目標として取り組む。

(改正案)

○第4条 広域連合は、次に掲げる事務を処理する。

- (1) 広域(2以上の構成府県の区域にまたがる区域を言う。以下同じ)にわたる防災、観光、文化及びスポーツの振興、産業の振興…(中略)…に関する計画(第6条に規定する広域計画を除く。)の策定及び実施に関する事務

- (3) 観光、文化及びスポーツの振興に関する事務のうち、次に掲げるもの
ク スポーツ大会の誘致及び開催の支援に関する事務で広域にわたるもの

○別表(第20条関係)

経費の区分	負担する構成団体	負担割合
省 略		
事業費	第4条第1項第3号エからクまでに規定する事務に係る経費	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市及び神戸市 人口割10分の5 宿泊施設数割(文化及びスポーツの振興に関する事務に係る経費にあっては、均等割)10分の5

<参考1> 「広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」の策定

広域連合として取り組むべきスポーツ振興施策を明確にし、ライフステージに応じたスポーツ活動を振興するための「広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」の策定

※ 広域スポーツの振興施策に加え、関西ワールドマスターズゲームズ2021開催を契機としたスポーツツーリズムの推進、文化の発信、スポーツ関連産業の振興等を通じた関西の活性化戦略を立案し、取組を進める。

※ ビジョンの策定により新たに取組む具体的な事務が出てくれば、次期広域計画（計画期間：平成29年度～平成31年度）に反映させる。また、広域計画の改訂に併せて規約を改正する。

（「広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」の内容のイメージ）

- ◇生涯スポーツ先進地域関西の実現
 - ・若者のスポーツ参加機会の拡充
 - ・高齢者の体力づくり支援
 - ・地域スポーツ環境づくりに対する広域的連携による支援
 - ・トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進 等
- ◇競技力向上のための支援
 - ・競技者の育成への支援
 - ・指導者育成への支援 等
- ◇スポーツツーリズムを通じた文化の発信と地域の活性化
 - ・広域観光・文化振興との連携 等
- ◇関西の強みを生かしたスポーツ関連産業の振興
 - ・広域産業振興との連携 等
- ◇国際競技大会の招致や開催の支援
 - ・国際大会の共同招致活動、開催のPR活動
 - ・会場提供（相互利用）の調整
 - ・国に対する財政要望活動 等

<参考2> 関西における広域的スポーツ大会等の招致及び開催の支援

- ① 関西ワールドマスターズゲームズ2021への支援等
 - ・大会開催に向けた国等への財政支援要望、広報活動支援
- ② 生涯スポーツ振興のための支援
 - ・関西マスターズスポーツフェスティバル関係団体等への大会開催運営支援、広報活動支援
- ③ 東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ2019の招致等
 - ・東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地や域外開催の共同招致
 - ・ラグビーワールドカップ2019の開催地の共同招致

(関西で開催される主なスポーツ大会)

- 全国高等学校総合体育大会「近畿総体」(H27)
- 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会[和歌山県](H27)
- 全国高等学校総合体育大会「中国総体」(H28)
- 日本スポーツマスターズ[兵庫県](H29)
- 世界ベテラン卓球選手権大会[神戸市](H30)
- 全国健康福祉祭「ねんりんびっく」[和歌山県](H31)
- 関西ワールドマスターズゲームズ 2021(H33)
- 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会[滋賀県](H34)
- 全国高等学校総合体育大会「四国総体」(H34) 等

(キャンプ地や会場の誘致支援を行う大会)

- ラグビーワールドカップ 2019[会場未定](H31)
- 東京オリンピック・パラリンピック[会場未定](H32) 等

(3) 担当委員及び担当事務局の設置

規約改正後、「広域スポーツ振興ビジョン(仮称)」の策定等の事務を処理する担当委員及び担当事務局を設置する。

3 スケジュール(案) <想定される最短スケジュール>

(1) 広域計画および広域連合規約改正

- 平成 27 年 2 月 連合議会(総務常任委員会)へ報告
- 平成 27 年 4 月～5 月 連合委員会で規約及び広域計画の改正案を決定
- 平成 27 年 6 月 連合議会(全員協議会)に議案として報告
- 平成 27 年 7 月 連合議会(7月臨時会)で広域計画改正案を議決
- 平成 27 年 5 月～7 月 各府県市議会で規約改正案を議決
- 平成 27 年 8 月 規約改正の総務大臣許可

(2) 広域スポーツ振興ビジョン(仮称) 策定

- 平成 27 年 9 月 連合委員会で担当委員、担当事務局決定、「広域スポーツ振興ビジョン(仮称)」策定開始
<連合議会(総務常任委員会)へ中間案及び最終案を報告>
- 平成 28 年 2 月 連合委員会で「広域スポーツ振興ビジョン(仮称)」案を決定
- 平成 28 年 3 月 連合議会で「広域スポーツ振興ビジョン(仮称)」案を議決
(→次期広域計画に反映)

「コミックマーケットスペシャル6 - OTAKU SUMMIT 2015 -」への出展について

平成27年3月10日
まんが王国官房
高等学校課

まんが王国とっとりが、「コミックマーケットスペシャル6- OTAKU SUMMIT 2015 -」へ、県立米子高校の生徒とともに出展します。まんが王国とっとり及びチャレンジ精神を持った高校生が、それぞれ制作した漫画冊子により鳥取県をPRします。

国内最大級イベントのコミックマーケットへの出展は、高校生が更なる大きな夢を描いて創造性を高めることを促すとともに、その高校生の若さをエネルギーにした、元気一杯のまんが王国ととりのPRを実現します。

〔イベント概要について〕

- 1 名称 コミックマーケットスペシャル6- OTAKU SUMMIT 2015 -
- 2 日時 平成27年3月28日(土)、29日(日)
- 3 場所 幕張メッセ(千葉県千葉市)
- 4 主催 コミックマーケット準備会、有限会社コミケット
- 5 イベント内容

コミックマーケットとは、同人誌即売会を中心としたイベントであり、通常は年2回(8、12月)開催されるイベントで今年で40周年となる。最近では一開催あたり50万人を超える参加者が集う大規模イベントとなっている。そしてコミックマーケットスペシャルとは通常開催に加えて、5年に一度開催される特別イベントで、毎回コンセプトを定めて開催しており、今年は「オタクサミット」と称し、マンガ、アニメ、ゲームを楽しむ国内、国外のオタク文化ファンが集う特別イベントとして開催される。

6 鳥取県の出展概要

まんが王国ととりと高校生による共同出展。2ブースで、まんが王国ととりで企画制作した漫画(国際マンガコンテスト作品集、もののふ)の有料販売や、高校生が自主制作した漫画冊子の無料配布をするほか、観光PRを実施して観光誘客を図る。

〔高校生の自主制作冊子について〕

1 概要

米子高校の生徒が中心となって、県教育委員会の「とっとり夢プロジェクト」事業に応募し、採用された「もっと、絵をうまくなってまんが王国ととりの高校生を全国にPRしたいプロジェクト」の成果として制作した冊子。

2 参加生徒数

米子高校13名、米子東高校1名、米子工業高校1名 の計15名

3 サイズ・ページ数

A5判、150頁

4 作品点数

20点

5 その他

今回出展に参加するのは、米子高校の生徒3名

〔参考〕「とっとり夢プロジェクト」事業について

自由な発想による主体的な企画・活動を促し、このことが自らの自主性・個性の伸長、学校や地域の活性化につながることを目的として、想像力とチャレンジ精神を持った高校生に対して支援する。